

## 故障診断

- 本内容は、ベールグラブ本体側に関して予想される不具合の原因及び処置方法について、その主な内容を抜粋しております。ローダ本体及びトラクタとの関連によるものは、ローダ及びトラクタの取扱説明書をご参照願います。
- 原因や処置方法が解らない場合は、下記事項と共に購入先にご相談ください。

○製品名

○型式

○製造番号

○故障内容 (できるだけ詳しく)



**警告** 不具合を処置する際は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

- 平坦な場所に作業機を降ろし、エンジンを停止して行ってください。
  - エンジンを停止せずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタやローダが動いたりして重大な事故につながる恐れがあります。
- 油圧ホースの配管をゆるめなければならないときや、作業中に油がふき出したときは.....
  - 必ずエンジンを停止し、作業機を地面に接地させてから、ベールグラブ油圧回路の操作レバーを数回動かして、ホース内圧を抜いてから修理等を行ってください。
  - \*移動、停止後はオイルが高温になっていることがありますので、温度が下がるのを待ち修理等を行ってください。
  - \*万が一、油が目に入ったり、やけどした場合は、すぐに医師の処置を受けてください。

症 状	原 因	処 置
グラブハンドが 作動しない	油圧カプラ接続不良 油圧カプラの損傷	接続する 部品交換する
	パイロットチェック弁のゴミかみ、または不良	洗浄修理、または交換
	トラクタやローダの油圧回路がロックされている	トラクタ及びローダの説明書に基づき ロックを解除する
	ダンプ速度増速装置が増速状態になっている (増速装置付ローダ)	ダンプ速度増速装置を解除する
ハンドのグリップが 弱い グリップしたベール が落下する	パイロットチェック弁の不良	部品交換する
	ホースの接続違い (バルブセクションにポートリリーフがある場合)	設定圧力の高い方を、ハンドが閉じる方向 に接続する
	適合しないサイズのベールを掴んでいる	ベール径に適合したベールグラブを使用する
	ベールが雨や、露でぬれている	すべりやすくなりますので、できるだけ作業をさけてください